

## 本計画に関連する用語集

特に記載がないものは、「なるほど!!公共交通の勘どころ」(九州運輸局)を参考にしています。

### あ行

—

### か行

#### 買回品

衣類や家電等いくつかの店舗をみて、価格、品質、デザイン等を比較して購入するような商品のこと。(参考:「H26 買物動向調査」沖縄県)

#### 基幹バス

「那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市・北中城村地域公共交通総合連携計画」に示されている幹線的な路線バスのこと。久茂地ーコザ間のバスレーンを走行し、速く、正確に、多頻度で運行する。(参考:「那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市・北中城村地域公共交通総合連携計画」)

#### 公共交通空白地域

鉄道やバスなどの公共交通を利用することが困難なエリアのこと。一般的には、鉄道駅から半径 800m~1,500m 程度、バス停から半径 200~500m 程度の範囲からはずれるエリアを公共交通空白地域としている例が多い。本計画では、バス停から半径 300m以遠を公共交通空白地域としている。

なお、公共交通は運行されているものの、運行頻度が著しく低いエリア等を「公共交通不便地域」などと位置づけているケースもみられる。

#### 交通結節点

鉄道の乗継駅や、鉄道とバスの乗り継ぎが行われる駅前広場のように、多くの交通が集中的に結節する箇所をいう。規模により交通結節点と、小規模で交通結節点を補完するサブ交通結節点に区分することもある。(参考:「都市計画用語辞典」都市計画用語研究会)

#### コミュニティバス

交通空白地域、不便地域の解消等を図るため、市町村等が自主的に計画し、運行する乗合バスのこと。交通事業者に委託する場合もある。県内では、読谷村で鳳バスや、中城村で護佐丸バスなどが運行されている。(参考:「コミュニティバス導入に関するガイドライン」国土交通省)

## さ行

### 指定管理者制度

都道府県や市町村が設置した公園、体育館、博物館などの施設の管理を、民間事業者も含む法人等に委託する制度のこと。公の施設の管理に民間の能力を活用することで、多様化する住民ニーズへの対応や、住民サービスの向上、経費の削減等が図られる。(参考：「指定管理者制度について」沖縄県HP)

## た行

### 地域公共交通

地域住民の日常生活若しくは社会生活における移動又は観光旅客その他の当該地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関のこと。

### デマンド交通

「デマンド」とは要望のことで、乗客から事前に連絡(予約)を受けて、基本となる路線以外の停留所に立ち寄ったり、運行を開始したりするなど、乗客の要望を運行に反映できる運行形態をいう。

### トリップ

ある地点(出発地)からある地点(目的地)への移動のこと。移動の単位であり、1回の移動が1トリップと表現される。

## な行

—

## は行

### パーク&ライド(P&R)、パーク&バスライド(P&BR)

都心部等での道路交通混雑を避けるために、都市の郊外部において自家用車を駐車し、鉄道、バス等の公共交通へ乗り継ぐ手法のこと。一般的には鉄道への乗り継ぎを指すことが多く、バスに乗り継ぐ場合は、パーク&バスライド(P&BR)とあらわすこともある。

### バスベイ

バス停におけるバスの停車による交通渋滞を防止するため、車道から分離して設置されたバスの停留施設のこと。(参考：「都市計画用語辞典」都市計画用語研究会)

## バスロケーションシステム（バス接近表示システム）

運行中のバスの位置情報をGPS（Global Positioning System：全世界的な無線測位システム）車載器でリアルタイムに把握することにより、バスの現在位置・運行状況・遅れ等の情報を提供するシステム。

## バリアフリー

高齢者、障がい者等が社会生活していく上での物理的、社会的、制度的、心理的および情報面での障壁（バリア）を除去するという考え方。公共交通機関のバリアフリー化とは、高齢者、障がい者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにすること。

## フィーダーバス

基幹バスなど幹線的なバスに接続し、地域内の移動を支える支線の役割を担うバスのことをさす。狭義では、「地域公共交通確保維持改善事業」の対象となる地域内のバス交通・デマンド交通等を示す。

## ま行

—

## や行

## ユニバーサルデザイン

年齢、性別、国籍、身体能力等の個人差に関わらず、できるだけすべての人が利用しやすいような製品、環境をデザインする（つくる）という考え方のこと。（参考：「沖縄県ユニバーサルデザイン推進指針」）

## ら行

## リニアバスターミナル

那覇方面からのバスは、コザで折り返し、名護・うるま・泡瀬方面からのバスは胡屋で折り返し運転を行うことで、胡屋—コザ間のすべてのバス停において、相互の乗り継ぎが可能となる仕組み。（参考：「沖縄本島中南部都市圏総合交通戦略」沖縄県）

## 路線バス（乗合バス）

正式には一般乗合旅客自動車運送事業といい、主に路線を定めて定期に運行する自動車により不特定多数の旅客を乗り合わせて運送する事業のことで、道路運送法による事業の経営許可、運賃・料金の認可・届出等が必要である。乗合バスには、一般の路線バス、定期観光バス、長距離高速バスなどがあるが、本計画においては、路線バスと沖縄市中心市街地循環バス等を区別している。

## ART

Advanced Rapid Transit、次世代交通システムの略。

BRT に加えて自動運転技術等を活用してドライバーの運転を補助し、常に正確で、安全、快適な運行を目指す交通システム。滑らかな交通流動の実現や、車いす利用者等のスムーズな乗降なども図られる。(参考：「沖縄次世代都市交通システム」沖縄総合事務局)

## BRT

Bus Rapid Transit、高度基幹バスシステムの略。

専用走行路を走行し、近代的な駅、ハイテク車両を用いて高頻度・高速サービスを実現する都市公共交通システムで、バスを用いることにより安価かつ効率的な整備が可能なシステム。

## DID

Densely Inhabited District、人口集中地区の略。

人口密度が1平方キロメートルあたり4,000人以上の地区が隣接して、人口5,000人以上となる地域のこと。(参考：「人口集中地区とは」総務省HP)

## ICT

Information and Communication Technology、情報通信技術の略。

情報や知識の共有・伝達といったコミュニケーションを行う情報通信技術のこと。教育や遠隔地医療など様々な分野で活用されている。(参考：NTT 西日本 HP)

## LRT

Light Rail Transit の略。従来の路面電車から走行空間、車両等を向上させたもので、高い速達性、定時性、輸送量等をもった、人や環境に優しい都市公共交通システム。

## MM (モビリティ・マネジメント)

一人ひとりのモビリティ(移動)が、社会にも個人にも望ましい方向(例えば、過度な自家用車利用から公共交通や自転車等を適切に利用する方向)に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした取り組み。

## TDM (交通需要マネジメント)

Transportation Demand Management の略。公共交通機関の利用促進など、車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または地域レベルの交通渋滞を緩和する手法の体系をいう。

## PFI

Private Finance Initiative の略。

民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う手法のこと。国や地方公共団体が直接実施するよりも、民間の資金、能力を活用した方が効率的かつ効果的に公共サービスが提供できる事業において導入される。(参考：「PPP/PFIとは」内閣府HP)

## PTPS

Public Transportation Priority Systems : 公共車両優先システムの略。

路線バスやパトカー・救急車などの公共車両が交差点を通過する際に信号が青になるなど、優先的に信号機等を制御するシステム。